**新型コロナウィルス感染症を引きおこすSARS-CoV2の存在を証明する科学論文**

**及び無症状感染者からの感染を証明する科学論文の有無を調査し**

**新型コロナウィルス感染症対策費とその対策の見直しを求め、**

**議会を通常運営に戻すことを求める陳情書**

**趣　旨**

日頃、＊＊市長をはじめ職員の皆様には、この新型コロナウィルス感染症の市民への感染拡大を防止する為に、ご尽力を頂いている事と存じ感謝申し上げます。通常の定例会にはない感染症の問題で、対策本部や関係各所の方々も苦慮されている事と存じますが、感染防止の観点から定例会における審議時間も短縮していると知りました。

しかし、私を含めた市民の少数ではありますが、この新型コロナウィルス感染症は、指定感染症第二類に制定するほどの強毒なウィルスではないと確信に至っています。

新型コロナウィルス感染症を引き起こしたSARS-CoV2の病原性を証明する論文や無症状感染者から感染を引き起こすという論文の所在を調査し、その危険性も調査した上で、新型コロナウィルス感染症の感染防止対策費とその市民への対策の見直しを求め、議会の審議時間も通常運営に戻す事を要望いたします。

**理　由**

この新型コロナウィルス感染症（以下、Covid-19とする）について、他の自治体では、この感染症の対策について、審議されている中、いろいろな議論が叫ばれていることをインターネットや人伝で聞いていますが、私自身は４月の当初から、このコロナ騒動を疑問に感じていました。まず私の周りには、Covid-19に感染した人が居ないのです。インフルエンザであれば、１０人に１人の割合で居るので、家族や同僚の中に出てくるのは普通ですが、未だに新型コロナウィルスに罹患した人は、私の周りや同僚の周りには現れません。

本当に指定感染症・第二類になるほど、強毒なウィルスなのだろうか。

素朴な疑問が生れました。そこで、調べた結果をここに提示したいと存じます。

1. **新型コロナウィルスは実在するという科学論文はあるのか？**
2. **無症状感染者から感染させるという科学論文はあるのか？**
3. **Covid-19で亡くなった方の死因は、Covid-19なのか？**
4. **PCR検査は、Covid-19を判定するには、正しい検査なのか？**
5. **新型コロナウィルスは、指定感染症第二類にするほど、強毒なウィルスなのか？それより、メディアウィルスの方が怖い。**

**この５つの視点から、Covid-19騒動は、真実なのか、私なりに検証しました。**

**理由説明**

1. **Covid-19を引き起こすウィルスSARS-CoV2の存在証明**

新型コロナウウィルス感染症（**Covid-19**）を引き起こすウィルスはSARS-CoV2とされているが、**病原性の存在を証明した科学論文**が見当たらない。（資料１、２、３、４、５）

**（資料１）厚生労働省に電話による問い合わせ**

新型コロナウイルスのウイルス自体（SARS-CoV2)の存在と病原性を証明した科学論文は、厚生労働省のホームページに無いので回答できない、問い合わせ先も不明という回答。

今期の流山市議会に陳情する陳情者本人による電話問い合わせ動画。

<https://www.bitchute.com/video/HbpXlHh7vxh8/>

**（資料２）１０月厚生労働省に情報開示請求した回答**

一般市民による「新型コロナウィルスの存在を示すエビデンスはあるのか？」

動画：<https://www.youtube.com/watch?v=y60goL1rBtI>

回答：回答の期限の延長。今、現在はないということ。

**（資料３）国立感染症研究所がSARS-CoV2の論文を取り下げている。**

国立感染症研究所で検出したとされ、GenBankに登録されたSARS-CoV2情報は国立感染症研究所が自ら取り下げている。

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nuccore/LC521925.1>

SARS-CoV2を単離し、純粋化して科学的にその存在と病原性を証明した科学論文が存在しない。

# （資料４）徳島大学名誉教授　免疫生物学大橋眞教授

# 「病原体の存在は、証明されているのか」

動画**：**<https://youtu.be/EybuBFcJgyw>

**（資料５）令和2年10月に大田区議会にて奈須りえ議員の質問。**

令和2年　決算特別委員会での質問「誰が、何が、新型コロナを深刻化させているのか？」

議員：「Covid-19についての定義が示されている論文の有無を国に聞いても返事がない、新型コロナウィルスの定義、新型コロナウィルス感染症の定義はありますか？」

動画：<http://nasurie.com/news/8673/>　8：10～

回答：「新型コロナウィルスの定義の論文あるが、新型コロナウィルス感染症については、感染症法で規定されている」定義の論文はあるが、存在する証明はない。

1. **無症状感染者から感染させるという科学論文はあるのか？**

新型コロナウィルス感染症（以下、**Covid-19**とする）の検査であるPCR検査で陽性とされた**無症状の感染者から感染させるという科学論文**が見当たらない（資料６、７、８　）

**（資料６）資料５と同じ大田区奈須りえ議員　令和２年10月議会**

議員質問「無症状感染者は、証明されていますか？いるなら論文を示してください。大切なことなので、国や国立感染症研究所などに聞いてお答えください」

回答：「見つかりませんでした」

<http://nasurie.com/news/8673/>　3：35～

**（資料７）前述の流山市議会に陳情した陳情者本人による厚生労働省への電話問い合わせ**

「無症状患者が感染させる事を証明した科学論文もホームページに無いので回答できない」である。

（**資料８）厚生労働省のホームページＱ＆Ａ**

**新型コロナウイルスについて**

**問３．無症状病原体保有者（症状はないが検査が陽性だった者）から感染しますか。**

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryou/dengue\_fever\_qa\_00001.html#Q2-3](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html" \l "Q2-3)

「感染が広がる恐れがある」という情報の参照で、台湾論文を案内されるが、この論文は感染させることを証明する論文ではない。

よく読むと調査結果では、

Among the 91 close contacts of the 9 asymptomatic cases, no secondary transmission was observed.

（91人が9人の無症状者と濃厚接触したが、2次伝搬は観察されなかった。）と記載されており、逆に、無症状からは感染させなかった検証結果がわかる。

1. **Covid-19で亡くなった方の死因は、Covid-19なのか？**

（資料９、１０）

令和２年６月１８日の厚生労働省の新型コロナウィルス感染症対策推進本部から、衛生主管部（局）への通達文には、Covid-19を示すと言われるPCR検査で、一度でも陽性者と判定された場合、「厳密な死因を問わず「死亡者数」として全数を公表するようお願いいたします」とある。

　　死亡解剖も行っていないので、本当の死因は、わからない。

# （資料９）愛知県庁への一般市民の質問動画

# <https://www.youtube.com/watch?v=9rs1cZxPRr4>

# 「感染対策局の職員に、厚生省 から虚偽報告指示があったか確認する　と、悪びれる様子もなく、｢ありました｣とあっさりと認める」

（資料１０）「厚生労働省　通達文書（６月１８日）

「新型コロナウイルス感染症患者の急変及び死亡時の連絡について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000641629.pdf>　３ページ中の２枚目

1. **Covid-19を判定するPCR検査の正確性。**

そもそもPCR検査は、病原体を検出するものでなく、遺伝子配列を増幅して検出するものである。また検査のしくみから、偽陽性を作りやすく、日本のPCR検査のサイクル数が多いことから、必ずしもCovid-19に感染したとは言い切れない。（資料１１、１２、１３、１４、１５）

**（資料１１）PCR検査を発明しノーベル化学賞を受賞したキャリー・マリス博士自身が、「ウィルスの検出の為にPCRを使用することは適切ではない」と発言しています。**

**動画：**[The Ebola Test: Let the Test’s Inventor Speak - Global ResearchGlobal Research - Centre for Research on Globalization](https://www.globalresearch.ca/the-ebola-test-let-the-tests-inventor-speak/5406779)

**（資料１２）令和２年６月の議会で池田としえ市議「新型コロナに迫る！」PDF：**[20200608.pdf (ikedatoshie.com)](http://ikedatoshie.com/20200608.pdf)

質問５コッホの原則を考えてみると、新型コロナウィルスは証明されていると思いますか？

答弁では、前出の徳島大学名誉教授・大橋眞氏が武漢論文を検証したところ、「武漢の重症肺炎患者の肺からとった液体からウィルスを分離しないまま、ショットガン法で決定したゲノム遺伝子配列で、感染性のない常在ウィルスが紛れ込んだ配列になっている可能性が高い。と言っている。もし、PCR検査において常在ウィルスの遺伝子も検出していると、新型コロナウィルスの定義とは異なる常在ウィルスを検出し、新型コロナウィルスに感染していなくても陽性と判定してしまっている可能性があります。また風邪やインフルエンザ、寝たきりの高齢者などで免疫力が弱くなると、この常在ウィルスが増えるため、ＰＣＲ陽性と判定してしまうことになります」とある。

私たちの日々生活している空気中には、この常在ウィルスである風邪のコロナ菌は、存在しているわけですから陽性率が高くなってくるわけです。

またPCR検査の問題点を千葉県内のクリニックの医師が指摘しています。

（**資料１３）千葉市稲毛区の武田クリニック**

**「コロナ雑感：PCR検査の問題**<https://www.takedaclinic.com/news/747/>

「このPCR検査は唾液中あるいは、鼻腔口腔内にいるウィルスの遺伝子の特定の断片を取り出し、それを倍々に増幅していく回数をサイクル数といい、（または、Ct値と言いますが）このサイクル数から存在するウィルスの量が推定される検査です。

要するに、サイクル数（増幅の数）が少なくて陽性になれば、ウィルス量は多く、サイクル数を多くして陽性になるようであれば、ウィルス量は少ないことになります。日本のサイクル数（Ct値）は、４０～４５と国立感染症研究所のマニュアルにあります。

この事からも、日本の陽性者のウィルス量は少ない可能性が高いと言えます。

**（資料１４）前出の奈須りえ議員　同年１０月議会**

<https://www.youtube.com/watch?v=uW75B_SxZJs&feature=emb_logo>

「６月に承認された富士レビオの厚生労働省の結果を見ると、

PCR検査の陽性の97.3％は、ウィルスが8個以下でした。コロナに感染するかどうかの動物実験では、少なくても１０万のウィルスを投与していますから、その１/１００００以下のウィルス量しかなく感染力がないことは確認するまでもない」と発言している。

（通常、感染症の発症はウィルス最低3000～1万以上が必要です）

（**資料１５）令和20年11月11日、ポルトガルの下級裁判所では、「PCR検査がCovid-19の陽性者を判定するには、不確実で、その検査に基づいて隔離を行うのは違法である」という判決**が出ましたが、主流メディアは、この判決を一切報じておりません。

判決文の中には、**「PCR検査がCt値35以上で行われた場合、感染している確率は3%であり、97%は偽陽性だ」**とある。

この裁判結果からも、**日本のサイクル数は４０～４５**ですので、かなりサイクル数が多く、偽陽性の確率が高く、ウィルス量も少ないですから陽性反応が出たとしても、感染している確率も低い。

**《判決文》ポルトガル語**

<https://drive.google.com/file/d/1t1b01H0Jd4hsMU7V1vy70yr8s3jlBedr/view>

（下に、英語版、参考記事を載せています）

**ポルトガル裁判の判決文**＜英語版＞

<https://translate.google.com/translate?hl=&sl=pt&tl=en&u=http%3A%2F%2Fwww.dgsi.pt%2Fjtrl.nsf%2F33182fc732316039802565fa00497eec%2F79d6ba338dcbe5e28025861f003e7b30>

『参考記事』

**「オフ・ガーディアン」ポルトガルの裁判所は、PCRテストを「信頼できない」および検疫を「違法」と規定しています。**

<https://off-guardian.org/2020/11/20/portuguese-court-rules-pcr-tests-unreliable-quarantines-unlawful/>

BonaFidr(独立系メディア)

[https://bonafidr.com/2020/11/22/%E3%83%9D%E3%83%AB%E3%83%88%E3%82%AC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A3%81%E5%88%A4%E6%89%80%E3%81%8C%E3%80%81pcr%E6%A4%9C%E6%9F%BB%E3%81%AF%E4%BF%A1%E7%94%A8%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%9A%E5%BC%B7%E5%88%B6/?amp=1](https://bonafidr.com/2020/11/22/ポルトガルの裁判所が、pcr検査は信用できず強制/?amp=1)

1. **Covid-19は、指定感染症第二類にするほど、強毒なウィルスなのか？**

**それより、メディアウィルスの方が怖い。**

（資料１６、１７、１８）

**（資料１６）厚生労働省に問い合わせ**

**Covid-19**の危険性を示す根拠となる文書がないという返事。

他の一般国民による電話問い合わせ動画<https://www.youtube.com/watch?v=WkSRMqmlG80>

**（資料１７）Dr Roger Hodkinson　ロジャー・ホドキンソン博士**

（プロフィール）ケンブリッジ大卒の病理学・疫学専門、元王立医学会会長

現在はCOVID検査キット販売会社の会長<https://westernmedical.ca/employees/roger-g-hodkinson/>

動画での発言：[ドクター・ロジャー・ホディキンソン (bitchute.com)](https://www.bitchute.com/video/BmElbYk7WNeb/)

「新型コロナウィルス騒動は、政治的な工作があり、政府・メディアの詐欺行為であり、Ｃovid-19は、せいぜい強いインフルエンザが流行しているだけ」

**（資料１８）Dr.Wodarg（ボーダーグ医師）が**

**ファクトチェッカー企業を名誉棄損でドイツ裁判所に訴訟。**

ライナー・フーミッヒ弁護士

[ベン・スワン：速報「ファクトチェッカーに対する名誉毀損訴訟」 (bitchute.com)](https://www.bitchute.com/video/LMkl1QHo2DXy/)

Dr.Wodarg医師は、PCR検査で感染症を判断できないとした記事を、YouTubeやFacebook、Twitterなどのファクトチェッカー企業が、「デマで、嘘つきだ」と言ったことが、名誉棄損にあたるとして、訴訟を起こしたのです。

この動画もYouTubeに在りましたが、ファクトチェッカー企業ですから消される可能性があるので、bitchuteに入れました。

メディアリテラシーが問われる昨今ですが、日本のメディアの偏向報道も酷いものがあります。特にCovid-19関連の真実を伝える動画や投稿は消されていきます。日本では、外国のデモの報道も操作されて真実は伝えられていませんし、極端に報道の数が少ないです。

私は、政府やメディアの洗脳のほうが、ウィルスより怖いです。

欧州では、「このCovid-19は詐欺である」いう証拠が判明し、欧州の医師や弁護士や政治家、心理学者、代替療法家、平和活動家らが集まり世界自由同盟が発足。訴訟を起こす構えです。

〖世界自由同盟〗https://www.bitchute.com/video/Vn10t7TKN9ei/

日本はどうでしょう。世界で一番眠っていると言われています。

このCovid-19のウィルスSARS-CoV2の存在を示す論文や、Ｃovid-19の無症状感染者から他人に感染させることを科学的に証明した論文が無い。

コロナの死者数の不透明性。PCR検査の信憑性。Covid-19の危険性を示す文書がないことから、私は、このＣovid-19の騒動は、真実ではないと確信するに至っています。

ここ＊＊市においても、このCovid-19（新型コロナウィルス感染症）を引き起こしたSARS-CoV2の病原性を証明する論文や無症状感染者から感染を引き起こすという論文の所在などを調査したうえで、もし根拠を示す科学論文が不在であるならば、今までの市政が行った感染症対策が適切であるのか否かを、再検討する必要がある。

政府やメディアで人々に恐怖を煽り、外出自粛させ、仕事を休業させ、中小企業や商店などを追い込み、倒産させた経済的なダメージは計り知れないものがあります。

また無症状者が感染させるという情報などから、健康な人々がマスク着用、三密を避け、消毒の徹底などの対策を、義務のように強いられた。

ＰＣＲ検査で陽性となれば、無症状でも、隔離や入院で社会生活を制限され、学校や会社で差別の対象になり、酷い場合は、自殺や失業者も出ている。

マスコミの作り出した感染症への恐怖から、正義の名のもとに、人を監視、同調圧力を生み、マスク警察や、自粛警察などができ、人々を対立させ、殺伐とした社会も作り出している。

また新生活様式の３つであるマスクの着用・三密をさける・消毒の徹底は、免疫学の観点からみれば、すべて免疫力を落とす生活スタイルである。

この新生活様式は、人は汚いものであるという価値観をつくり、人と人との距離を離し、地面や空気には、ばい菌やウィルスがいて危険だという、今までの日本人が培ってきた人と微生物（ウィルスも含む）との共存を否定し、人間らしい営みも、すべて否定してしまっている。

インフルエンザよりも感染力も低く、未だに死者数も少ないという事からもこのCovid-19は、それほど危険な感染症であるとは言い切れない。

その事から新型コロナウィルス感染症の感染防止対策費や市民への感染症対策の見直しを求め、議会の審議時間も通常運営に戻す事を要望いたします。

令和２年１２月１日

　　　　　　　　　　　　　　「＊＊＊＊＊会」

　　　　　　　　　　　　提出者

　郵便番号

住　所

　　　　　　　　　　　　電話番号

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

＊＊市議会議長　 様